## 職業実践専門課程等の基本情報について

<b>₩</b> ₩ ₽		-n.≘	프레크노미디	1 ++	巨力			記た地			
<u>学校名</u> 東京メディカル・スポ	一ツ専門		<u>電認可年月日</u>		長名 土地	Ŧ	134-0088				
学校			成30年8月1日 ——————		正雄	(住所) (電話)	東京都江戸川区西葛 03-5605-2930				
設置者名		設立	拉認可年月日	1 代表	養者名	Ŧ	134-0088	所在地			
学校法人 滋慶	学園	昭和	58年12月23日	日 浮舟	邦彦	(住所) (電話)	東京都江戸川区東葛 03-5878-3311	西6-16-2			
分野		認定課程名	1	認定学科	名		門士認定年度	高度専門士認定年	丰度	職業実践	専門課程認定年度
医療	医	療専門課	程	理学療法士科	H I 部		-	平成26年文部科学 告示第59号	学省	平成	29(2017)年度
学科の目的	ICTを基盤	とした先端技	支術を活用し、	変化する社会にも	柔軟に対応で	できるマイ	ンドとスキルを身につけ、	患者・利用者・スポーツ	/選手に貢	貢献できる理学	学療法士を養成する
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		去士国家資 ·身に付ける		す。②学内教育・臨	床実習を通	し、ニュー	ノーマル時代に対して主	体的に対応できる技術	と創造性	の高い思考を	ままま ままま ままま ままま ままま かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう
修業年限	昼夜	全課程の値	多了に必要な組 単位数	総授業時数又は総 女	講	義	演習	実習	実	!験	実技
<b>4</b> 年	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	3,840 単位時間 単位		単位時間単位	180 単位時間	990 単位時間	0	単位時間	570 単位時間 単位
生徒総定員		€員(A)	留学生数	(生徒実員の内数)(B)	留学生割		_				
160 人	160			2 人	1.25	%	_				
		望者数(D)	<u>:</u>	34 26		<u> </u>	_ _				
	■就職者		:	26		Ļ	- -				
	■就職率		元就職者の割			<u>人</u> %	= -				
	■卒業者	こ占める就理	職者の割合(E	61 E/C)		%	-				
-	■進学者	坐行		76 0		<u>%</u>	_				
	■延子日			U		^	-				
	次年度国	家試験再分	受験								
	(令和 ■ <b>主</b> か就	<sub>5</sub> 職先、業界		関する令和6年5月1	日時点の情報	<b>{</b> )					
	<b>■</b> ⊥'&'%'	4成人し、木っト	77								
	病院・クリ	ニック・整刑	<b>多外科</b>								
				:評価:							
第三者による	■民間の	評価機関等	ジ外科 等から第三者 「について任意」								
	■民間の ※有の場合	評価機関等	等から第三者 について任意記 一般社団法		受審年月:	2024/3/1		man a man	edical.ac.	<u>ww.tokyo-</u> .jp/assets/do	oc/about/info/hokok
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等	等から第三者 について任意記	記載	受審年月:	2024/3/1			edical.ac.		ıc/about/info/hokokı
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体:	等から第三者 ドについて任意記 一般社団法。 評価機構	記載		2024/3/1		man a man	edical.ac.		oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tokvo-me	等から第三者 Fについて任意記 一般社団法 評価機構	人柔道整復教育		2024/3/1		man a man	edical.ac.		uc/about/info/hokoku
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tokvo-me	等から第三者 について任意 一般社団法 評価機構 adical ac.ip/co	人柔道整復教育		2024/3/1		man a man	edical.ac.	.jp/assets/do	oc/about/info/hokoku
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tokvo-me	等から第三者 ドについて任意 一般社団法 評価機構 edical.ac.ip/co	記載 人柔道整復教育 purse/rigaku-study	۷.			man a man	edical.ac.	.jp/assets/do	vc/about/info/hokoku
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 FICOUT 任意 一般社団法 評価機構 adical ac. ip/co 5 算定)	記載 人柔道整復教育 purse/rigaku-study 連携した実験・実	<u>/</u> 習・実技の摂			man a man	edical.ac. df 945 945	.jp/assets/do 単位時間 単位時間	uc/about/info/hokoku
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 デについて任意 一般社団法 評価機構 adical ac.ip/co 5 算定) ( うち企業等と うち企業等と	記載 人柔道整復教育 purse/rigaku-study 連携した実験・実 連携した演習の授	<u>/</u> 習・実技の摂			man a man	945 945	単位時間 単位時間 単位時間	sc/about/info/hokoki
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 デについて任意 一般社団法 評価機構 adical ac.ip/co 5算定) ( うち企業等と うち企業等と うち必修授業	記載 人柔道整復教育 purse/rizaku=studv 連携した実験・実 連携した演習の授	<u>/</u> 習・実技の担 業時数	受業時数	*-	man a man	945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	sc/about/info/hokoki
第三者による学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 デについて任意 一般社団法 評価機構 adical ac.ip/co 5 算定) ( うち企業等と うち企業等と うち必修授業 う	記載 人柔道整復教育 purse/rizaku=studv 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携し	∠ 習・実技の技業時数 た必修の実験	受業時数	実技の授業時数	man a man	945 945 945 945 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 デについて任意 一般社団法 評価機構 adical ac.ip/co 5 算定) ( うち企業等と うち企業等と うち必修授業 う	記載  人柔道整復教育  Durse/rizaku=studv  連携した実験・実連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し	習・実技の技業時数 た必修の実験 た必修の演習	受業時数 ・実習・ なの授業時	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 デについて任意 一般社団法 評価機構 adical ac.ip/co 5 算定) ( うち企業等と うち企業等と うち必修授業 う	記載 人柔道整復教育 purse/rizaku=studv 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携し	習・実技の技業時数 た必修の実験 た必修の演習	受業時数 ・実習・ なの授業時	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	vc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me	等から第三者 ドについて任意 一般社団法 評価機構 adicalac.in/co う算定) ほ うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載  人柔道整復教育  Durse/rizaku=studv  連携した実験・実連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し	習・実技の技業時数 た必修の実験	受業時数 ・実習・ なの授業時	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	vc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.tokvo-me 立時間による 総授業時数	等から第三者 ドについて任意 一般社団法 評価機構 adicalac.in/co 5算定) ( うち企業等と うち企業等と うち企業等 ( うち企業等 ( うち企業等	記載  人柔道整復教育  Durse/rizaku=studv  連携した実験・実連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し	習・実技の技業時数 た必修の実験	受業時数 ・実習・ なの授業時	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	uc/about/info/hokoku
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をの実施状ルか 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 評価団体: www.tokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 第数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 F(cつ) で任意 一般社団法 評価機構 adical ac.in/co ら算定) ほうち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と でのである。 「うち企業等と 「うち企業等と 「うち企業等と	記載  人柔道整復教育  Durse/rizaku=studv  連携した実験・実連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し	習・実技の批業時数 た必修の実験 た必修の演習	受業時数 食・実習・ 皆の授業時 の授業時数	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をの実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 評価団体: www.tokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 第数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 ドについて任意 について任意 一般社団法 ・	記載  人柔道整復教育  Durse/rizaku-study.  連携した実験・実 連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し  と連携したインタ	習・実技の批業時数 た必修の実験 ニンシップの 習・実技の批	受業時数 食・実習・ 皆の授業時 の授業時数	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 0 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 評価団体: www.tokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 第数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 ドについて任意 について任意 一般社団法 ・	記載  人柔道整復教育  Durse/rigaku-study.  連携した実験・実連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し  きと連携したインタ  連携した実験・実	習・実技の批業時数 た必修の実験 ニンシップの 習・実技の批	受業時数 食・実習・ 皆の授業時 の授業時数	実技の授業時数数数	man a man	945 945 945 0 945 94 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 評価団体: www.tokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 第数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 ドについて任意 一般社団法 神価機構 adicalacin/co ら算定) ほうち企業等と うち企業等と うち企業等と で で で うち企業等と で うち企業等と で うち企業等と で うち企業等と で うち企業等と で うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載  人柔道整復教育  Durse/rigaku-study.  連携した実験・実連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し  きと連携したインタ  連携した実験・実	習・実技の担業時数 た必修の実験 た必修の実験 ーンシップの 習・実技の担業時数	受業時数 食・実習・ 者の授業時数 受業時数	実技の授業時数 数 (1)	man a man	945 945 945 0 945 94 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	vc/about/info/hokoku
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をの実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 ※wtokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 系 系数による 系数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 デについて任意 一般社団法 一評価機構 adicalacin/co の算定) (うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載  人柔道整復教育  Durse/rigaku-study.  連携した実験・実 連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  ち企業等と連携し  を達携したインタ  連携した実験・実 連携した演習の授	習・実技の担業時数 た必修の実験 でシップの で、実技の担業時数	受業時数 食・実習・ 電の授業時数 受業時数 ・実習・	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数	man a man	945 945 945 0 945 94 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	vc/about/info/hokoku
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 ※wtokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 系 系数による 系数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 デについて任意 一般社団法 一評価機構 adicalac.in/co 5.算定) ほうち企業等と うち企業等と うち企業等と でうち企業をと でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業をと でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業をと でうちを できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。	記載  人柔道整復教育  Durse/rigaku-study  連携した実験・実 連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  おと連携したインタ  連携した実験・実 連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  など連携した演習の授  を変	習・実技の担業時数 た必修の実験 でシップの で、実技の担業時数	受業時数 食・実習・ 食の授業時数 受業時数 ・実習・ 食・実習・	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数	man a man	945 945 945 0 945 94 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	vc/about/info/hokoku
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をの実施状ルか 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :例えば以下 ※wtokvo-me 立時間によるる 総授業時数 立数による 系 系数による 系数による 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な 系な	等から第三者 デについて任意 一般社団法 一評価機構 adicalac.in/co 5.算定) ほうち企業等と うち企業等と うち企業等と でうち企業をと でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業をと でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業等と でうち企業をと でうちを できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。	記載  人柔道整復教育  Durse/rigaku-study  連携した実験・実 連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  おと連携したインタ  連携した実験・実 連携した演習の授  時数  ち企業等と連携し  おと連携した演習の授  おと連携した演習の授	習・実技の担業時数 た必修の実験 でシップの で、実技の担業時数	受業時数 食・実習・ 食の授業時数 受業時数 ・実習・ 食・実習・	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数	man a man	945 945 945 0 945 94 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	sc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をの実施状ルか 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 www.tokvo-me 立時間によるる 総授業時数	等から第三者 デについて任意 一般社団法 一評価機構 adicalac.in/co う算定) ほうち企業等と うち企業等と でうち企業等と でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと でうち企業等とと	記載  人柔道整復教育  Durse/rigaku-study  連携した実験・実 連携した演習の授  時数 ち企業等と連携し ち企業等と連携し まと連携した演習の授  連携した実験・実 連携した大変の授  をと連携したない。  をはまれる。  をはまれる。 をはまれる。  をはまれる。  をはまれるる。  をはまれるる。  をはまれるる。  をはまれるる。  をはまれるる。 をはまれるる。  をはまれるる。  をはまれるる。 をはまれ	習・実技の担業時数 た必修の実験 では、大変にあります。 では、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変に	受業時数 食・実習・ 食の授業時数 受業時数 ・実習・ 食・実習・	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数	man a man	945 945 945 0 945 94 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	sc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・、評価価機関以下 ・、評価価関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三者 デについて発生 については は は は は は は は は は は は は は	記載  人柔道整復教育  Jurse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授  ち企業等と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方とで表示する。	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 食・実習・実習の授業時数 受業時数 受業時数 の授業時数	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数	結果を掲載した ームページURL D	945 945 945 0 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ic/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携した深 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・、評価価機関以下 ・、評価価関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三者 デについて住意法 一評価機構 adicalac.in/co の算定) ほうち企業等とと まするのでである。 の第二章 の	記載  人柔道整復教育  Jurse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授  ち企業等と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方とで表示する。	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 食・実習・実習の授業時数 受業時数 受業時数 の授業時数	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数	結果を掲載した ームページURL D	945 945 945 0 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等から第三者 デについて発生 については は は は は は は は は は は は は は	記載  人柔道整復教育  山rse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授  時数 ち企業等と連携したと連携したよと連携したよと連携した大変習の授  連携した実験・実理携したと変を変をときまる。  連携した実験・実理携した実験・実理携した演習の授  を変に、また、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 会・実習・ 実習の授業時数 受業時数 会・変響・実際・ 会・変響・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・表別・	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数	新和来を掲載した - ムページURL - 1	945 945 945 945 0 945 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施状かした況かいに記入りに記入りに記入りに記入りに記入りに記入りに記入りに記入りにいます。	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・ Wutokvo-mu を時間では、 を放っている。 を対している。 をがしる。 をが	等から第三名	記載  人柔道整復教育  山rse/rigaku-studv  連携した実験・実連携した演習の授  時数 ち企業等と連携したな連携した大変  連携した実験・実 連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  を連携した大変  をを変 を変	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 ・実習・実習・ ・実習・ ・変型・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2)	新1号) 第1号)	945 945 945 0 945 0 945 1 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 企業等の実いずれか に記入)	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三者語 (こう ) (こ	記載  人柔道整復教育  Jurse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授時数 ち企業等と連携したな連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したなどを選集したなどを表である。  連携した実際・実達機した大きな連携したなどである。  「とは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 ・実習・ ・実習・ ・変遣の授業時数 ・変響・ ・変を、 ・変をを、 ・変をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	実技の授業時数 数 (7) 実技の授業時数 数 (7) 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号)	945 945 945 945 0 945 945 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間 単位 単位 時間 単位 単位 時間 単位 中間 単位 中間 単位 中間 日 単位 中間 日 し 日 日 し 日 し 日 し 日 し 日 し 日 し 日 し 日 し	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科のホーリストリー・ リスの リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リストリー・ リスト リストリー・ リスト リスト リスト リスト リスト リスト リスト リスト リスト リスト	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三名意 (つ) 第三名意 (こつ) では (こつ) では (こつ) では (こつ) では (こう) では	記載  人柔道整復教育  Jurse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授時数 ち企業等と連携したな連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したなどを選集したなどを表である。  連携した実際・実達機した大きな連携したなどである。  「とは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 ・実習・実際の の授業時数 ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・できまする。 ・では、 ・では	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) 	新年を持載した   m	945 945 945 0 945 945 0	単位時間 単位時間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は	ec/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科のホーリストロール URL 以下には、「はないでは、」はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」」は、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」はないでは、「はないでは、」はないでは、「はないでは、」はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないではないでは、」は、「はないでは、」は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下: 一部 (中部 )	等から第三名意 (つ) 第三名意 (こつ) では (こつ) では (こつ) では (こつ) では (こう) では	記載  人柔道整復教育  Jurse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授時数 ち企業等と連携したな連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したなどを選集したなどを表である。  連携した実際・実達機した大きな連携したなどである。  「とは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 ・実習・実際の の授業時数 ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・できまする。 ・では、 ・では	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	新年を持載した   m	945 945 945 945 0 945 945 0	単位	oc/about/info/hokoki
第三者による 学校評価 当該学科のホーリストロール URL 以下には、「はないでは、」はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」」は、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」はないでは、「はないでは、」はないでは、「はないでは、」はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないでは、」は、「はないではないでは、」は、「はないでは、」は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下	等から第三名意 (つ) 第三名意 (こつ) では (こつ) では (こつ) では (こつ) では (こう) では	記載  人柔道整復教育  Jurse/rigaku-study  連携した実験・実連携した演習の授時数 ち企業等と連携したな連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したインタ  連携した実験・実連携したなど連携したなどを選集したなどを表である。  連携した実際・実達機した大きな連携したなどである。  「とは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部で	習・実技の担業時数 た必修の実際習・実技の担 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	受業時数 ・実習・実際の の授業時数 ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・実際を ・できまする。 ・では、 ・では	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	新年を持載した   m	945 945 945 945 0 945 945 0	単位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位   単位位   単位位   単位位   単位位   単位位   単位   世   世   世   世   世   世   世   世   世	c/about/info/hokoki
第三者による 学校評科のホーリン URL と連携施式かした況かに記入りに記入りに記入りに記入りに記していて、「「「「「「」」」を対象を表していて、「「」」を対象を表していて、「「」」を対象を表していて、「「」」を対象を表していて、「「」」を対象を表していて、「「」」を表している。	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下:	事から第三人間 (また) 第三人間 (また) 第二人間 (また) 第	記載 人柔道整復教育  wrse/rigaku-study  連携した実験・実達携した演習の授  ちらと連携した実験を支達携し  ちらと連携した実験の授  はた実験の授  はたました方と連携した大演習の授  を企業等ととを連携した大演習の授  を企業等とと連携した大演習の授  を企業等とと連携した大演習の授  をなる。ままり、一般である。  をはまれた。	習・実技の担業時数 た必修のの実習で表す。 ため修のの実践である。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	受業時数  《全國 中國 學業時数  《中國 中國 學業時数  《中國 中國 中國 學學 中國 中國 學學 中國	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	945 945 945 945 0 945 945 0 1 1 4 0 0	単位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位時間   単位位   単位位   単位位   単位位   単位位   単位位   単位   世   世   世   世   世   世   世   世   世	oc/about/info/hokoki

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を 定期的に実施することを目的とする。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもと設置され(添付教育課程編成委員会規定参照)、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっている。また学校運営においては教務組織規定において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を充分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
古島 昭博	滋慶学園 常務理事	2023.4.1~2025.3.31	
関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校 学校長	2023.4.1~2025.3.31	
藤本 拓也	東京メディカル・スポーツ専門学校 事務局長	2023.11.1~2025.10.31	
西田 茂男	東京メディカル・スポーツ専門学校 教務部長	2023.11.1~2025.10.31	
谷口 豪	東京メディカル・スポーツ専門学校 理学療法士科 I 部学科長	2023.4.1~2025.3.31	
髙井 豊	医療法人社団 森山医会	2023.4.1~2025.3.31	3
安田 和弘	早稲田大学	2023.4.1~2025.3.31	2
山口 智史	順天堂大学	2023.4.1~2025.3.31	1
遠藤 敦	公益社団法人東京都理学療法士協会	2023.4.1~2025.3.31	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 2023年7月5日 13:00~17:00

第2回 2023年11月30日 13:00~14:40

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ●入学の段階で学習のレジリエンス・職業意識のレジリエンスに課題を抱える学生も増えてきている中、どのように職業意識のレジリエンスを高めていくのか。
- ●VR・オンデマンド授業の拡充でリアルな教員に何ができるのか?VR・オンデマンド授業が拡充していく中、リアルな教員の役割とは何か。→作問は専任教員で時間をかけて行っています、一度作問を構築すれば重要なツールになりますので、今後も取り組んでいきます。
- ●実習において今までの学生と比べると考えさせられる部分が多く、実習に対する興味が薄いのではないか。
- ●昔と比べると、『入職して休みがちな新入職員』や『どうなのかと思われる新入職員』が増えたのではないか。→学校は、臨床実習 先と連携して学生指導および卒後のイメージを育んでいかなければいけないと考えています。
- ●ICT教育に関して、どのように進めていくべきか。

教育機関として保守的に考えると、チャットGPTを自由に学生に使わせることは危ないと感じます。『チャットGPTの回答の精度に対して何のリスクヘッジも無しに使っていくこと』、『正しくない情報が入ってる現状も踏まえ学生にチャットGPTを勧めること』を議論をしていくことが必要。1年生・2年生は学生自身で考え、3年生になったら応用として今までの知識を踏まえてAIの力を借りるのが良いと考えます。文章校正としてのチャットGPTの活用は良いと思います。チャットGPTをツールの1つとして活用し、検証する作業はAIでは無く、自分たちが検証していくことでレベルアップできると考えています。教科書をなぞる授業であればチャットGPTが教えてくれるので、教員はもっと上位に立っていかないといけません。

#### ●実習全体の構成はどうあるべきか。

国家試験の勉強をしていく意義が感じられるぐらいの実習期間がちょうど良いのではないでしょうか。実習地は、スポーツ志向の学生が多いのであれば、学校のカラーに合わせて実習地を決めていくのが良いです。スポーツに関わる経験や体験等学生自身が興味持った分野に自発的に行くこともすごく良いと思います。

●実習の期間として、適切な期間があるか。

病院に慣れるのであれば、5週以上は実習が必要だと思います。その方が学生も指導者も慣れると感じるからです。正解は無いと思いますが、評価実習であれば3週間から5週間はほしいところです。総合実習は、2例ぐらいは見れた方が良いと思います。1人の患者様に対して3週から4週、なのでミニマム7週から8週は実習期間として必要があると思います。1つの病院で実習を経験することも重要なのですが、4週間・5週間で色々な場所を経験させることの方が良いと感じます。

●多職種連携教育について『学校としてどのようなことができるのか』

実際に授業を設けて専門性のある方々にお話をして頂くことが良いと感じます。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

#### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

理学療法教育における臨床実習とは、知識・技術の講義や学生相互の実習で行った学内での教育と臨床実習の現場で統合することを目的としています。臨床実習を通じて、理学療法士の役割と責任を理解して自覚ある行動ができるようにすることを目的としています。

#### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

3年生は評価実習(225時間)、4年生で総合実習(720時間)ある。それぞれ実習開始前には、実習先の指導者を招いて会議(スーパーバイザー会議)を実施している。会議は、実習概要に基き、目的や実習の内容、評価について細かい点まで実習指導者と共有している。また実習指導者と学生との面談で事前の顔合わせをすることで、スムーズな導入と連携を深めている。

#### (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
臨床評価実習	臨床現場において実習指導者監督の下、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案までの実習を行う。	筑波記念病院・野田病院・(医)健佑会いち はら病院・金沢病院・森山記念病院 (合計 266施設)
臨床総合実習	理学療法士としての基本的態度を習得し、理学療法の課程(情報収集、問題点の抽出、目標の設定、理学療法プログラムの立案、理学療法の実施、再評価)を体験し学習する。また問題解決能力を向上する。	筑波記念病院・野田病院・(医)健佑会いち はら病院・金沢病院・森山記念病院 (合計 266施設)

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教職員規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法向上、マネジメント能力を含む指導力 の向上と専攻分野の実務知識を含む授業力の向上を目的としています。専攻分野における実務に関する教員研修をFD(ファカル ディ・デベロップメント)活動と位置づけ、年一回の研修への参加を推進している。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

第58回日本理学療法学術研修大会 連携企業等: 公益社団法人日本理学療法士協会 研修名:

期間: 2023年5月27日(土)~28日(日) 対象: 専仟教員

活力ある理学療法士~技能を繋ぐその先のキャリア~(理学療法に関する最新の知見を収集し授業へ反映する) 内容

連携企業等:公益社団法人日本リハビリテーション医学会 研修名· 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会

期間: 2023年6月29日(木)~7月2日(日) 対象・恵任数員

ScienceとArtをつなぐ ~これまでの25年とこれからの25年~ 内容

(リハビリテーションに関わる医学的な最新の知見を収集し授業へ反映する)

研修名: 第11回日本運動器理学療法学会学術大会 連携企業等:一般社団法人日本運動器理学療法学会

期間: 2023年10月13日(金)~15日(日) 対象: 専任教員

運動器理学療法学の協創~本質の探求と探究~(運動器理学療法に関する最新の知見を収集し授業へ反映する) 内容

研修名: 日本物理療法合同学術大会2024 連携企業等:一般社団法人日本物理療法学会

2024年1月26日(金)27日(土) 対象: 専任教員 期間:

多職種が集う物理療法フェスティバル~物理療法を知って使ってみよう~ 内容

(物理療法に関する最新の知見を収集し授業へ反映する)

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「2023年度国家試験対策研修会」 連携企業等:滋慶学園グループ国家試験対策センター

期間: 2023年6月6日(火) 対象: 専任教員

分析数字数字に基づいた国家試験合格率向上の為の工夫や教育方法を学ぶ。(国家試験対策方法を研修で学び、 内容

自校での工夫材料とし教育に役立てる。)

連携企業等: 一般社団法人全国リハビリテーション学校協会、公益社 ・ 団法人日本理学療法士協会他 研修名: 「臨床実習指導者講習会」

2023年6月24日(土)、25日(日) 期間: 対象: 専任教員

臨床実習指導方法について学ぶ(臨床実習指導について学び、学内での実習指導に役立てる) 内容

研修名: 第36回教育研究大会・教員研修会 連携企業等: 一般社団法人全国リハビリテーション学校協会

期間: 2023年8月25日(金)、26日(土) 対象: 専任教員

リハビリテーション関連職種教育のパラダイムシフト 内容 (リハビリテーション領域における教育の知見を収集し授業へ反映する)

#### (3)研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

第59回日本理学療法学術研修大会in東京 連携企業等: 研修名: 公益社団法人日本理学療法士協会

2024年6月29日(土)、30日(日) 対象: 専任教員 期間:

技能が繋ぐ未来への進歩 内容

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

「2024年度国家試験対策研修会」 連携企業等: 研修名: 滋慶学園グループ国家試験対策センター

2024年6月4日(火)13:00~16:30 対象: 専任教員 期間:

分析数字数字に基づいた国家試験合格率向上の為の工夫や教育方法を学ぶ。(国家試験対策方法を研修で学び、

自校での工夫材料とし教育に役立てる。) 内容

「2023年度JESC学会」 連携企業等: 研修名: 滋慶学園グループ国家試験対策センター

2024年12月5日(木) 対象: 専仟教員 期間:

各校の教育の取り組みに関しての発表を通じて教育への工夫や方法を学ぶ。(手法・方法を研修で学び、自校での

工夫材料とし教育に役立てる。) 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価 を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営の理解促進や連携協力による学校 運営の改善を目的とし、自己点検・評価の結果は学校法人滋慶学園情報公開規定に基づき学校内外に開示するものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(1) 中心 (1)	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念·目標·育成人材像
(2)学校運営	運営方針・事業計画・運営組織・人事・給与制度・意思決定システム
(3)教育活動	目標設定・教育方法・評価等・成績評価・単位認定等・資格・免許取得の指導体制他
(4)学修成果	就職率・資格・免許の取得率・卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路・中途退学への対応・学生相談・学生生活・保護者との連携・卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等・学外実習・インターシップ等・防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動・入学選考・学納金
(8)財務	財務基盤・予算・収支計画・監査・財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準等の遵守・個人情報保護・学校評価・教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献・ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ●学校のルールとしてテストの回答は返却するようにしてください。
- ●学校長や理事長の入学式などの話は、この学校がどんな考えで運営しているかなどを伝える場なので、別に場を設けて直接保護 者の方と話を聞いた方がいいのではないか。
- ●学校案内などに部活動の写真などがない。もう少し幅広く告知をしてはどうか。
- ●学生募集について、夜間などもあるので年齢を広げたり、女性を対象にするなどしても良いと思う。(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
牛込 公一	一般社団法人日本パラフェンシング協会	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	卒業生
和田 清香	在校生(保護者)	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	保護者
森 章	拓大紅陵高等学校	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	高等学校
沼倉 英里	行船管理有限会社	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	地域
藤野 浩一郎	一般社団法人TMG本部	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	業界関係
髙井 豊	社会医療法人社団森山医会	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	業界関係
宇梶 義男	ムーヴアクション株式会社	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	業界関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: https://www.tokyo-medical.ac.jp/common/doc/about/infomation/2025 hyouka kekka.pdf

公表時期: 2024年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営の理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とし、自己点検・評価の結果は学校法人滋慶学園情報公開規定に基づき学校内外に開示するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	・基本情報
	・開校の目的
	<ul><li>・建学の理念</li></ul>
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革
	・学校長略歴・ご挨拶
	・各科の養成目的
	・各科の別、修業年限、入学定員
	・教育目標・教育システム
(2)各学科等の教育	・教育スケジュール
	•取得目標資格
	・卒業後の進路(主な就職先)
(3)教職員	・代表教員の紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育への取り組み
(サ/1 ドグ) 教育 关端的概念教育	・就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	•教育活動
(の) はいる数日石切 数日珠光	•学校設備状況
	・主なサポートシステム
(6)学生の生活支援	・医療、健康サアポート
	・住環境サポート
	·就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	•学生納付金情報
	・学費サポートシステム
(8)学校の財務	·監査報告、貸借対照表、収支計算書、財産目録
(9)学校評価	・自己点検、自己評価
	・学校関係者評価の議事録
(10)国際連携の状況	
(11)その他	・災害時避難の対応

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: <a href="https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/infomation/">https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/infomation/</a>

公表時期: 2024年6月30日

# 授業科目等の概要

		分類	į													
	必修	選択必修	由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0			ITリテラシー	情報の選択、収集、活用について学ぶ。	1	30	2	0			0			0	
2	0			理学療法 基礎科学	理学療法士として必要な力学、生物学などの 基礎的な科学を学ぶ。	1	30	2	0			0			0	
3	0			心理学	心理学・カウンセリングの技法について理解 する。	1	60	4	0			0			0	
4	0				応急処置技術(テーピング)を学ぶ。(前期または 後期に履修)健康の保持 増進と体力の向上を図 り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。	1	60	4		0		0			0	
5	0			障がい者ス ポーツ論	初級障がい者スポーツ指導者の資格を取得す る	2	30	2	0			0		0		
6	0			コミュニケー ション論	人間関係に必要なコミュニケーションスキルを学 ぶ	1	30	2		0		0			0	
7	0			解剖学 I	理学療法士としての必要不可欠な人体の成り 立ちや形態、構造について学ぶ。	1	120	8	0			0			0	
8	0			解剖学Ⅱ	理学療法士としての必要不可欠な人体の成り 立ちや形態、構造について学ぶ。	2	30	2	0			0			0	
9	0			生理学	医療従事者として、理学療法士が習得してお かなければならない人体生理反応を学ぶ。	1	120	8	0			0			0	
10	0			運動学	人間の運動を分析する基礎的な学問、筋、骨格系の運動様式を理解し、運動障害の評価に活かす。		120	8	0			0		0		
11	0			運動機能論 I	関節の構造や仕組みをより深く理解し、人間 の運動機能について学ぶ。	1	30	2	0			0		0		
12	0			運動機能論Ⅱ	関節の構造や仕組みをより深く理解し、人間 の運動機能について学ぶ。	1	30	2	0			0		0		

_			ı										
13	0		人間発達学	身体・運動の発達を、胎児から成長過程を質 的変化の課程を学ぶ。	1	30	2	0		0		0	
14	0		病理学	疾患の原因・病態を病理形態学的変化から理 解し、疾患発生に関する基礎知識を学ぶ。	1	30	2	0		0		0	
15	0		神経内科学	理学療法士に求められる神経内科学に関する 知識について学ぶ。	2	60	4	0		0		0	
16	0		精神医学	理学療法士に求められる精神医学に関する知識について学ぶ。	3	30	2	0		0		0	
17	0		内科学	理学療法士に求められる基本的な内科学に関する知識について学ぶ。	2	60	4	0		0		0	
18	0		整形外科学	理学療法士に求められる整形外科学に関する 知識について学ぶ。	2	60	4	0		0		0	
19	0		老年学	超高齢化社会をむかえようとしている現代社 会の現状を認識し、問題点を解決する為の基 礎を学ぶ。		30	2	0		0		0	
20	0		救急救命 (BLS)	救急医療体制を学び、多様化する患者に対し、急変・突発的事故にどのような措置を取るべきかを説明できるようになる。		30	2	0		0		0	
21	0		画像診断学	医療現場で様々な疾患に対する医用画像診断の 理論を理解することを目的とする。	3	30	2	0		0		0	
22	0		栄養学	人体の栄養の相互作用と生命活動における栄養素の機能と効用を理解する。	2	15	1	0		0		0	
23	0		薬理学	多職種連携によるチーム医療であり対象者の 状態を図る上での臨床薬学の基礎知識を理解 する。		15	1	0		0		0	
24	0		予防とリハビリ テーション	専門職として病気予防や重症化予防再発予防の視点でリハビリを考え健康寿命を延ばしQOL向上を図ることを理解する。		15	1	0		0		0	
25	0		リハビリテー ション概論	リハビリテーションの概念と歴史、リハビリテーション医学と基礎医学、リハビリテーションの評価と診断について学ぶ。		15	1	0		0	0		
26	0		スポーツリハビ リテーション論	スポーツ外傷・障害の発生機序から病態・病 因・治療・リハビリテーションまでの流れを 理解し、対処方法を学ぶ。	3	15	1	0		0		0	
27	0		多職種連携の 理解	医師を中心とすうコ・メディカルとして患者にかかわる専門職と連携し合う意識を理解する。		15	1	0		0		0	

28	0		障がい者支援 と理学療法	理学療法の治療的視点のみならず、その人ら しい生活再構築を担う上で様々な保険制度を 理解する。		15	1	0			0	0		
29	0		理学療法概論	理学療法の概要を解説するとともに、運動療法の 概念を解説し、基礎的運動療法の方法について 解剖生理学的背景を吟ながら解説する。	1	15	1	0			0	0		
30	0		基礎理学療法セミナー	学外実習を実施する前後にその姿勢・心構え を学ぶ。	1	30	2	0			0	0		
31	0		病態運動学	基礎的運動学知識をさらに発展・統合し、臨 床における諸現象をより実践的に理解し、理 学療法の理論的根拠を学習する。		30	2	0			0		0	
32	0		関節の運動学	各関節における運動学的な知識を学ぶ。	2	30	2	0			0		0	
33	0		理学療法管理学	臨床現場における職場管理と職業倫理や組織 運営とマネジメントを包括的に学ぶ専門職と して理学療法教育を理解する。		30	2	0			0		0	
34	0		理学療法評価 概論	理学療法の対象となる障害の範囲と性質及び各 障害に対する理学療法評価の原理・信頼性・妥当 性を検討する。	1	30	2	0			0	0		
35	0		理学療法検 査・測定法	形態測定、運動機能測定、検査法の理論を学 ぶ。	2	60	4	0			0	0		
36	0		理学療法検 査・測定法実 習 I	形態測定、運動機能測定、検査法の実践。	2	60	2			0	0	0		
37	0		理学療法検 査・測定法実 習 Ⅱ	運動療法の基礎理論を理解した上で、基本的動 作訓練の技術を習得する。	3	120	4			0	0		0	
38	0		動作観察法演 習	理学療法士として必要な動作を観察から実践 できるまでのポイントを学ぶ。	1	30	2		0		0		0	
39	0		動作分析法	運動療法の基礎理論を学ぶ。	2	30	2	0			0		0	
40	0		動作分析法演 習	理学療法士に必要な動作分析を実践する。	3	30	2		0		0		0	
41	0		運動療法学	運動療法の基礎理論を学ぶ。	2	60	4	0			0		0	
42	0		運動療法学実 習 I	運動療法の基礎理論を理解した上で、基本的 動作訓練の技術を習得する。	2	60	2			0	0		0	

43	0	運動療法学実 習 II	運動療法の基礎理論を理解した上で、基本的 動作訓練の技術を習得する。	3	120	4			0	0			0	
44	0	疾患別理学療 法学実習 I	疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで実践を通し理解する。		30	1			0	0			0	
45	0	疾患別理学療 法学実習 Ⅱ	疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで実践を通し理解する。		120	4			0	0			0	
46	0	物理療法学	物理療法の歴史を学び、物理療法を実施するに 必要な生理学、病理学等の基本を理解する。温 熱・水治・牽引・マッサージの各療法の原理と目 的、適応と禁忌、リスク管理を学習する。	2	30	2	0			0		0		
47	0	物理療法学実 習	物理療法機器に関する基本的操作方法を理解 した上で実習する。	2	30	1			0	0		0		
48	0	義肢装具学演 習	義手・義足の基本的構造と機能について実習を 通して学ぶ。	2	30	2		0		0			0	
49	0	日常生活動作学	基本的な日常生活活動(動作)を分析し、障害に伴う能力障害に適応し、その問題解決のための 基本的技術を習得する。	2	30	2	0			0		0		
50	0	日常生活活動学実習	人間の日常生活活動(動作)を理解し、障害に伴う能力障害への諸問題を分析し、問題解決の基本的知識・技術を学習する。	2	30	1			0	0		0		
51	0	地域リハビリ テーション論	地域リハビリテーションの定義、活動概念、 直接的サービスの内容、教育啓発運動、介護 保険下の地域リハビリテーションの今日的課 題、機能訓練事業の意味等について学習す る。	2	15	1	0			0			0	
52	0	地域理学療法学	地域における生活支援の視点について理学療 法の理論を学ぶ。	2	15	1	0			0			0	
53	0	生活環境論	日常生活に関わる環境因子を学習し、住環境 改善の手法を理解する。また、歩行補助具、 福祉機器に関わる知識や利用方法を学ぶ。	2	30	2	0			0		0		
54	0	臨床評価実習	臨床現場において実習指導者の指導監督の 下、情報収集、観察、検査・測定、統合・解 釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立 案までの実習を行う。	2	225	5			0	0	0	0	0	0
55	0	臨床総合実習	7週間の臨床実習を2回行う。実習を通じて 臨床的観察力・分析力を養い、チーム医療の 全体像を把握し専門職としての責任と自覚を 持つことが出来るようにする。尚、実習前・ 後の臨床実習前後教育を含めた単位とする。		720	16			0	0	0	0	0	0
56	0	地域リハビリ テーション実習	訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション機能を持つ施設で多様化する社会的ニーズを体験的に理解する。		45	1			0	0	0	0	0	0

57	0		実習教育Ⅰ	学外実習を実施する前後にその姿勢・心構えを学 ぶ。	2	30	2	0		0			0
58	0			臨床評価実習を実施する前後にその姿勢・心構 えを学ぶ。	3	60	4	0		0			0
59	0			これまで学んだ基礎・臨床医学から専門知識 技術までを総合的に理解する為、国家試験形 式で解答力と専門力を身につける。		210	14	0		0			0
60	0		総合演習 Ⅱ	これまで学んだ基礎・臨床医学から専門知識 技術までを総合学習し、国家試験合格力を身 につける。		300	20	0		0			0
		合	計	60	杉	目			3840	単位	<b>Z時間</b>	1 (19	3単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ì.
卒業要件: 卒業時までに全科目の履修単位を取得して卒業判定会議に合格し、学校長が適当と認めた者が卒業となる。	1 学年の学期区分	2期
履修方法: 出席時間数が70%以上で、各科の評価試験を行う	1 学期の授業期間	30週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。